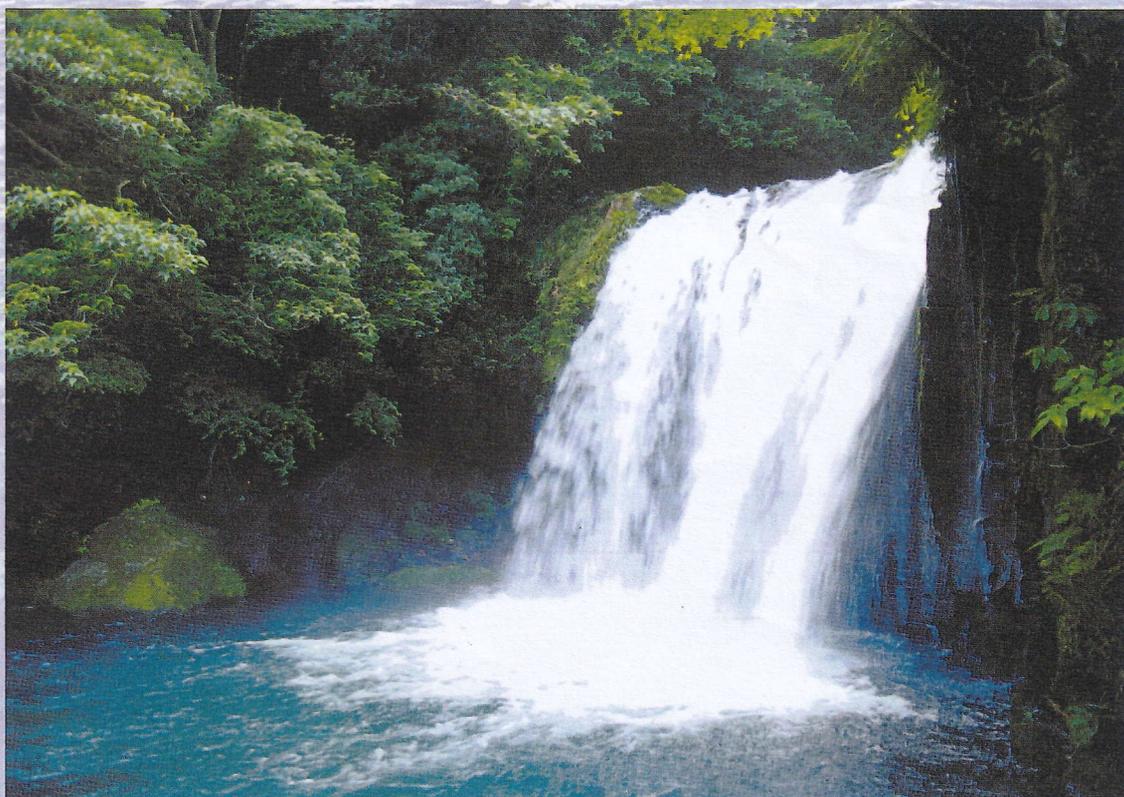


# 強力生菌液 『バイオリキッド』

汚水、汚泥、悪臭浄化に『バイオリキッド』が素早く効果を発揮します。



## ●使用上のご注意●

保管については直射日光を避けて冷暗所で保管ください。

『バイオリキッド』は生菌液ですから開封後はお早めにお使いください。  
溶液表面に白い酵母が浮く場合が有りますが効果には影響ありませんので  
良く振ってお使いください。

## 汚水浄化と消臭効果

バイオリキッドは汚水、汚泥、悪臭を強力に分解する有用無害の**土壌微生物(バチルス系)**を培養液化したもので、従来の化学薬品による一時的な消臭と異なり、微生物の働きで悪臭の元を確実に分解消臭します。微生物が次々増殖しますので効果が長時間持続し、汚染された環境を蘇生活性化します。

### □汚水浄化槽撒布例



浄化剤撒布前



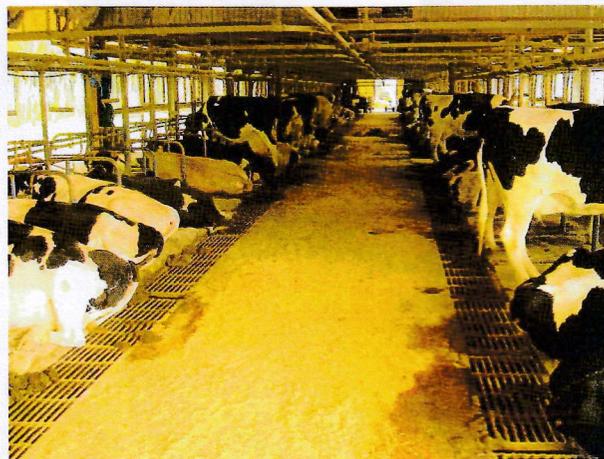
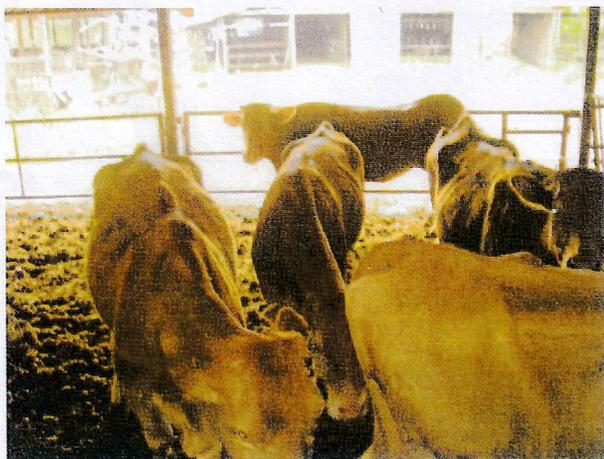
浄化剤撒布後

### 余剰汚泥 1mが30cmまで減少

浄化剤撒布前は最終沈殿槽の水質は茶褐色に汚れて悪臭がしていたが、撒布後7日で悪臭が消えて2週間で汚水が澄んできた。又、浄化剤撒布前の沈殿槽には余剰汚泥が1m以上堆積していたが、浄化剤撒布後45日目に余剰汚泥を計測したところ30cmまで減少していた。

## 畜産業の糞尿悪臭浄化

そのままの設備にバイオリキッドを撒布するだけで糞尿悪臭浄化。



畜産の牛舎内の悪臭浄化は「バイオリキッド」を撒布すると約30分程で牛舎内のアンモニア臭が消えてストレスが無くなったのか、餌の量が1.5倍ほど増えて、長時間寝るようになった。又、敷き材の(おが粉)や「木くず」が汚れず長時間交換の必要がなく経済的効果も見受けられた。糞尿タンク内に原液を混入すると10日程で悪臭が消え、撒布前の硝酸態窒素の数値1350mgが「0」を記録。茨城県代理店 太三機工株式会社で確認。

# 『バイオリキッド』の効果と特徴

- この菌体(バチルス系菌群)は有機物分解能力が極めて優れており、その混合菌体と対外酸素を適当に混合しながら培養・液化・濃縮したものです。従って、その有用代謝物も含んでいます。
- 『バイオリキッド』は、従来の化学薬品による一時的な消臭と異なり、微生物の働きで悪臭の元を分解、消滅させますので、し尿や廃液などの悪臭発生場所へ撒布することにより、微生物が有機物や各種腐敗菌及び悪臭物質を栄養分として消化・分解・殺菌・浄化を行います。尚、微生物が次々に増殖(31分に1回、1回の増殖率は $6 \times 10^{13}$ で世代交代しますので効果は長時間持続します。
- 又、排泄物を分解する際、微生物が酵素の作用で「バストラシン」(抗生物質の前駆誘導体)を作り、この物質が化学反応を通して①アンモニア(NH<sub>3</sub>)をヘキサメチレン・テトラミン(Hexamethylene Tetramine)という新しい物質に変える役目をしています。  
②尿素(CH<sub>4</sub>N<sub>2</sub>O)を炭素アンモニウムに加水分解し、③全体として脂肪酸炭酸アンモニウム・インドール・スカトール(Indol-C<sub>8</sub>H<sub>7</sub>・Skatol-C<sub>9</sub>H<sub>9</sub>N)・硫化水素(H<sub>2</sub>S)等の悪臭の主役たちの発生を抑止(コントロール)します。従って、蠅の誘引がなくウジ虫の発生も激減します。尚、酵素は触媒ですので化学反応において消失してしまうのではなく、反応速度を増やすことのできる特質を持っています。
- この微生物は抵抗力が強く、生存に不適な環境になると体中に固い芽胞を造り、体が溶けても芽胞が残り、適当なショックと好環境になれば又活性化する、強力な菌体です。
- 微生物を利用した廃液処理方法は既に活性汚泥法として、下水処理・し尿処理・工場の廃液処理などに広く用いられていますが、『バイオリキッド』は活性汚泥中の微生物では分解できなかった種々の有機化合物を消化・分解する能力と耐性を持っています。  
又、SS除去及び活性汚泥の微生物早期形成に最高の効果を発揮し、COD、BODの減少に効果をあげます。
- 『バイオリキッド』は悪臭物質を微生物によるキレート作用と、各微生物が生み出す酵素によって各種酵素が悪臭物質と結合し、アミノ酸類となり再び微生物により分解されます。

## ● マウスに対する『バイオリキッド』の経口毒性試験

### 1. 試験実験機関

大塚薬品工業株式会社 研究所

### 2. 供試動物 dd系マウス オス 5頭 メス 5頭 計 10頭

3. 『バイオリキッド』をマウスに各2000mg/kgを経口投与し、2週間観察した後剖検し毒性を判定した。

### 4. 試験結果

マウスに対する『バイオリキッド』の毒性は、2週間の観察期間中に生体に対して異常は認められなかった。尚、試験終了後各マウスを剖検した結果、内臓諸器官にも異常は認められなかった。

この結果、マウスに対する急性毒性は2000mg/kg以上である。

## □ アンモニア臭気官能試験

	30分	3時間	5時間	24時間	48時間
ブランク	-4	-4	-4	-4	-4
2.0% 添加	0	0	0	0	0

### ○ 5段階不快度表示法

不快度	内容
0	快でも不快でもない
-1	やや不快
-2	不快
-3	非常に不快
-4	極端に不快



「バイオリキッド」20リットル

【製造発売元】

微生物のパイオニア  
Microbic Pioneer

有限会社 **バイオ化研**  
Co.,Ltd BIODAKEN

〒861-5513 熊本市鶴羽田町510-3  
TEL096(344)5788・FAX096(343)7274